

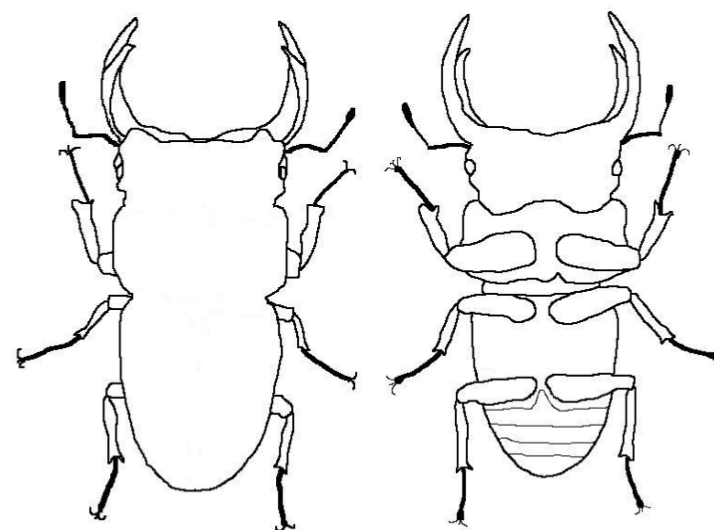
<アイデア>

第3学年「B生命・地球 (1)身の回りの生物」

昆虫の体のつくりに関する知識を活用しながら、クワガタの頭、むね、はらがどこなのかを考えることで、昆虫の共通性と多様性について学ぶとともに、学んだことを日常生活や社会に活用しようとする態度を育成するためのアイデア

<学習問題>

クワガタの頭、
むね、はらは
どこでしょうか。



＜授業展開のイメージ＞

昆虫の体のつくりに関する
児童の科学概念を確認



児童の思考を揺さぶる
問題提起



学んだことを活用して
クワガタに当てはめて推論



生物の共通性と多様性の
実感



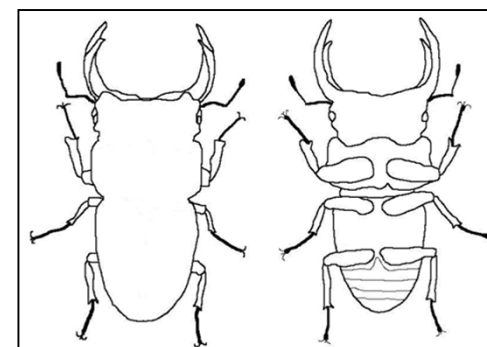
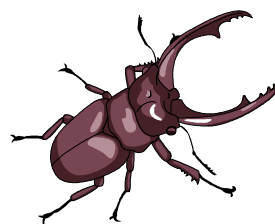
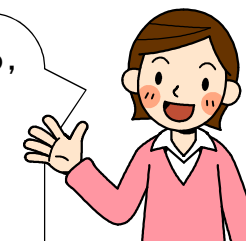
学んだことを日常生活や社会に
活用しようとする態度の育成

昆虫の学習をしましたが、昆虫の体はどの部分からできていましたか？（既習事項の確認）



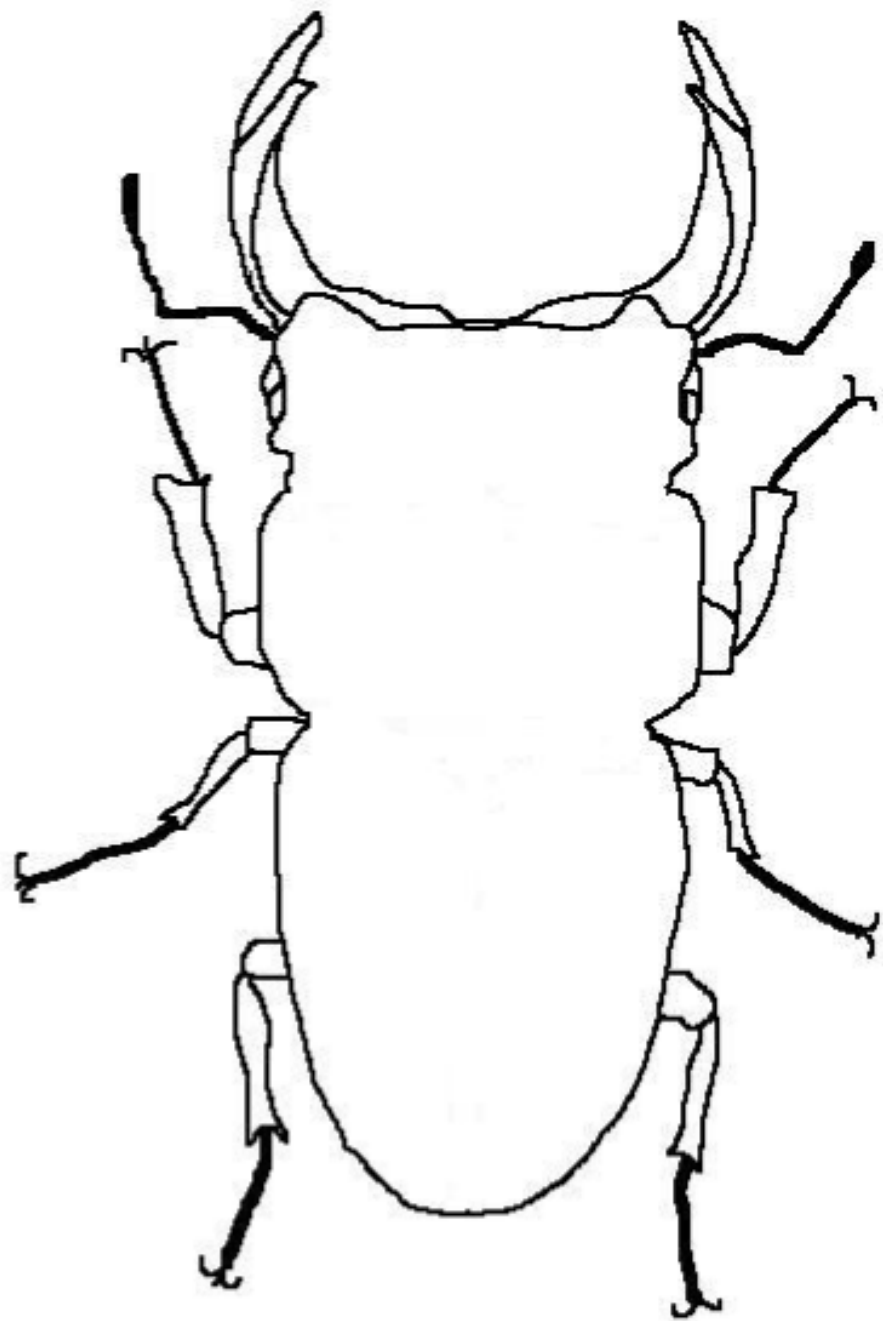
頭、むね、はらの三つの部分からできています。

実はクワガタを捕まえたので調べたら、クワガタも昆虫だということが分かりました。でも、頭、むね、はらがどこなのか分からないのですよ。みなさん、クワガタカードに区切りの線を書いて教えてください。（問題提起）

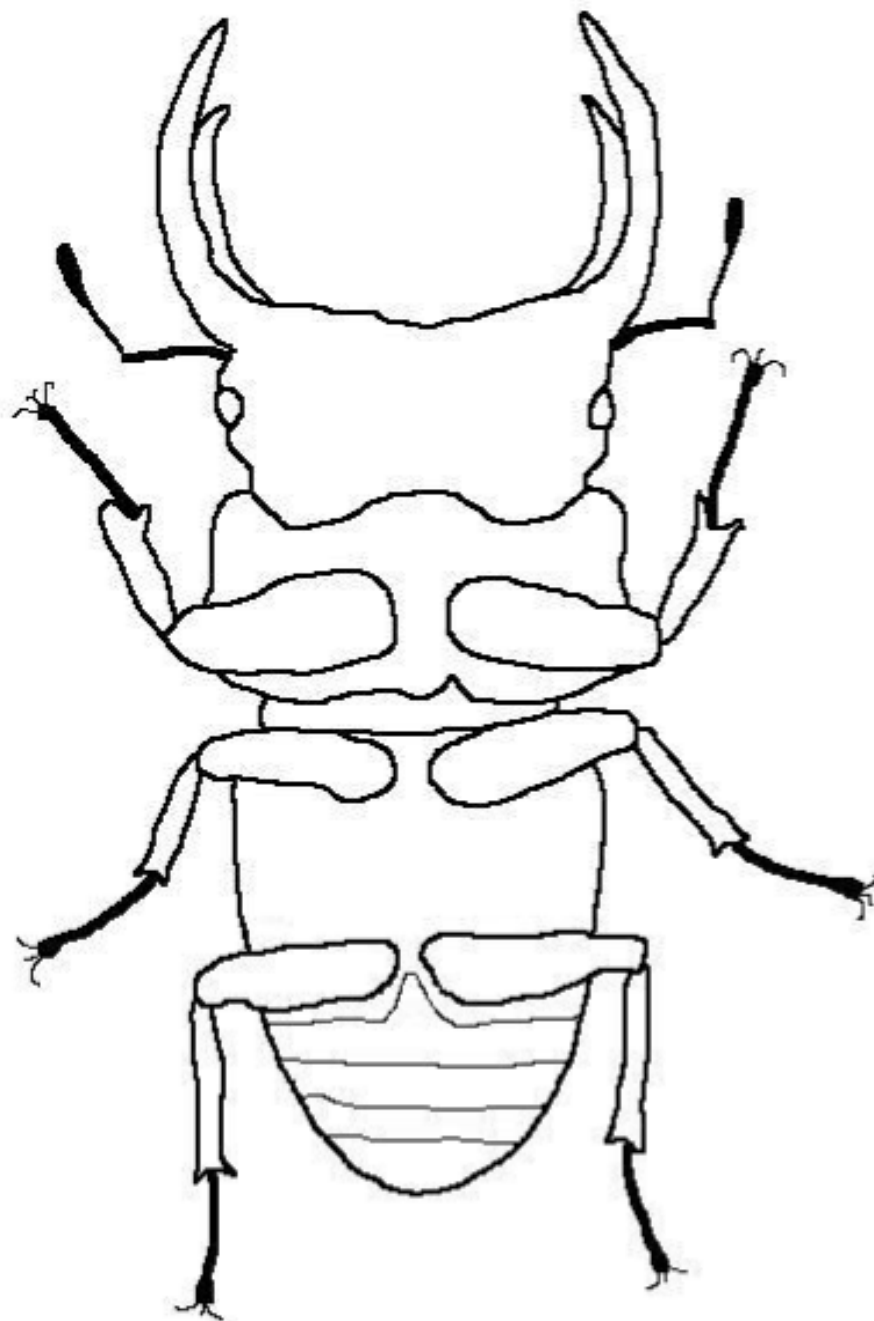


チョウ、トンボ、バッタの場合は確か…。（活用・発揮）

クワガタカード おもて



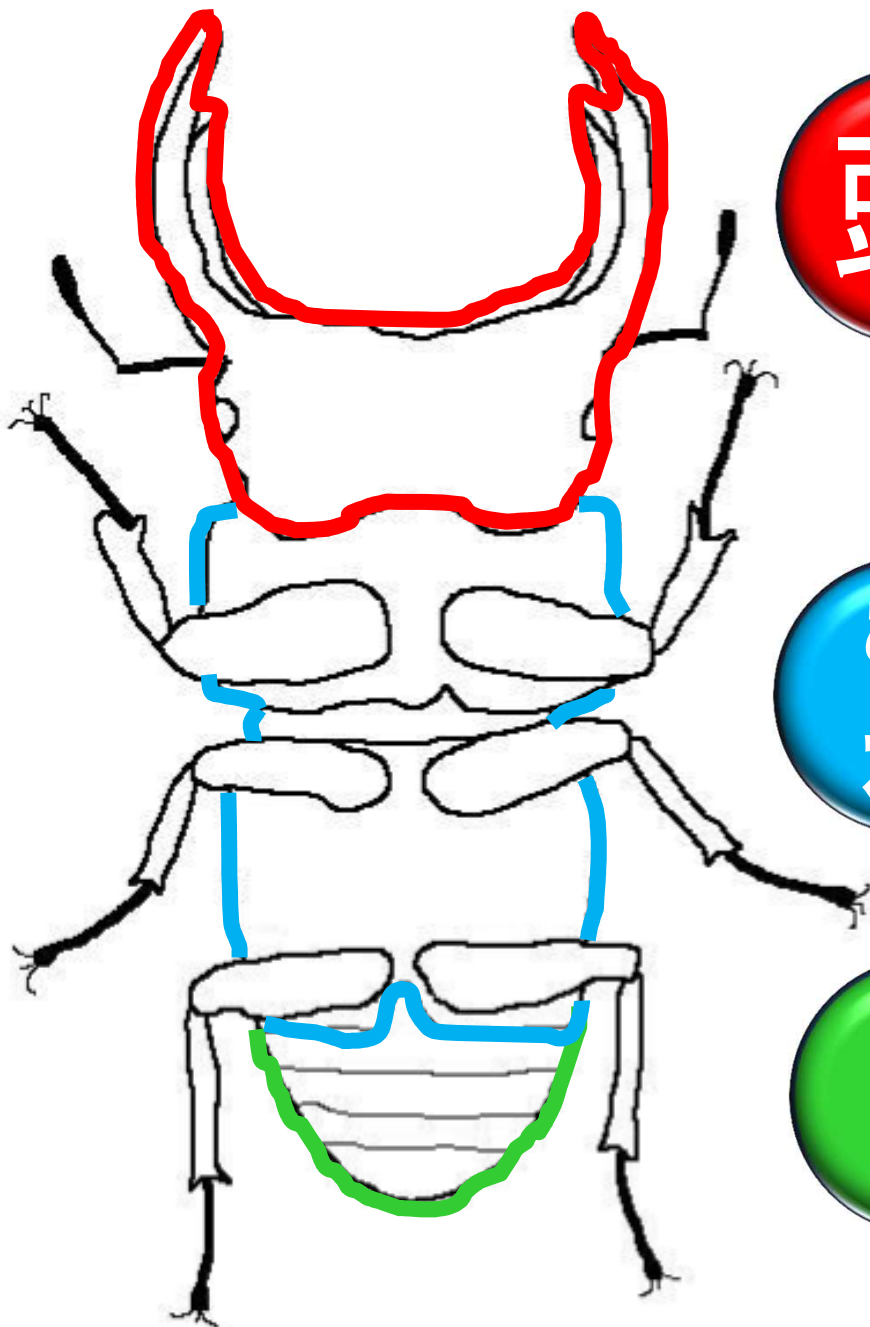
クワガタカード うら



【研修講座でアイデアを体験している様子】



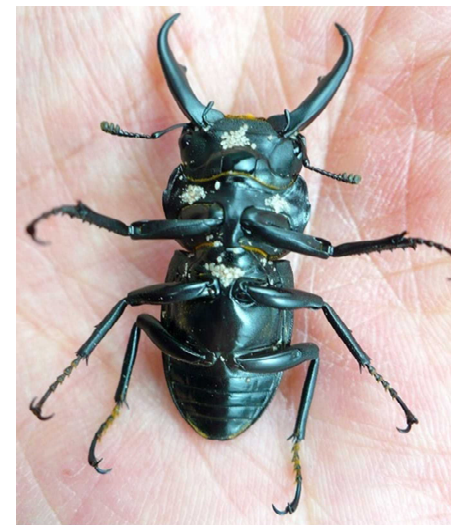
互いの考えを出し合っている様子。



頭

むね

はら



ありがとうございました。お陰様でクワガタの頭、むね、はらがどこなのか分かりました。

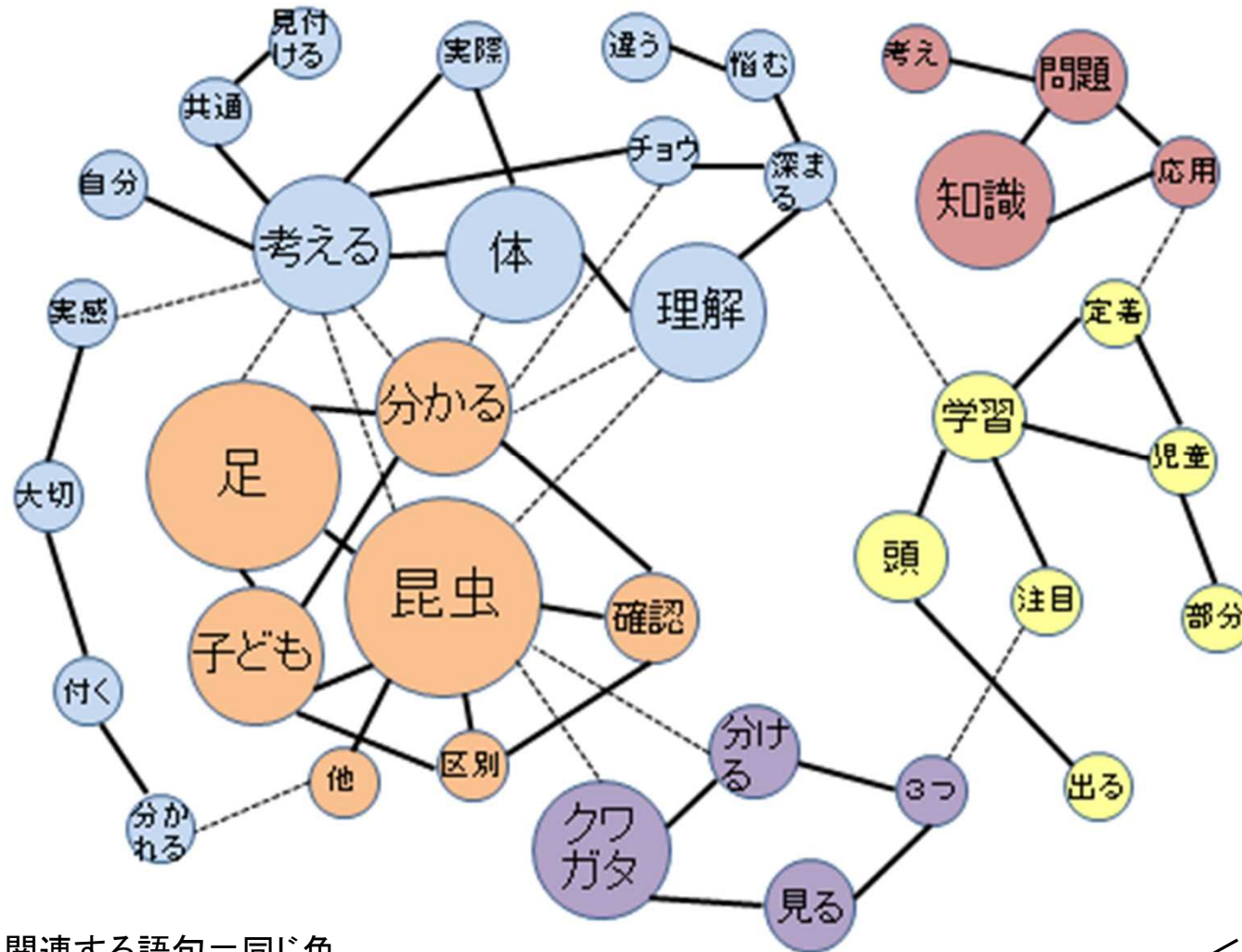


足がポイントなんだ。昆虫の体は、頭、むね、はらの三つの部分からできているけれど、形や大きさは昆虫によって違うのね。



アイディアの有効性

＜受講者80名の感想を分析＞



「昆虫」「足」という語句の出現頻度が高い。

そこから「子ども」「分かる」「考える」「理解」という語句に関連している。

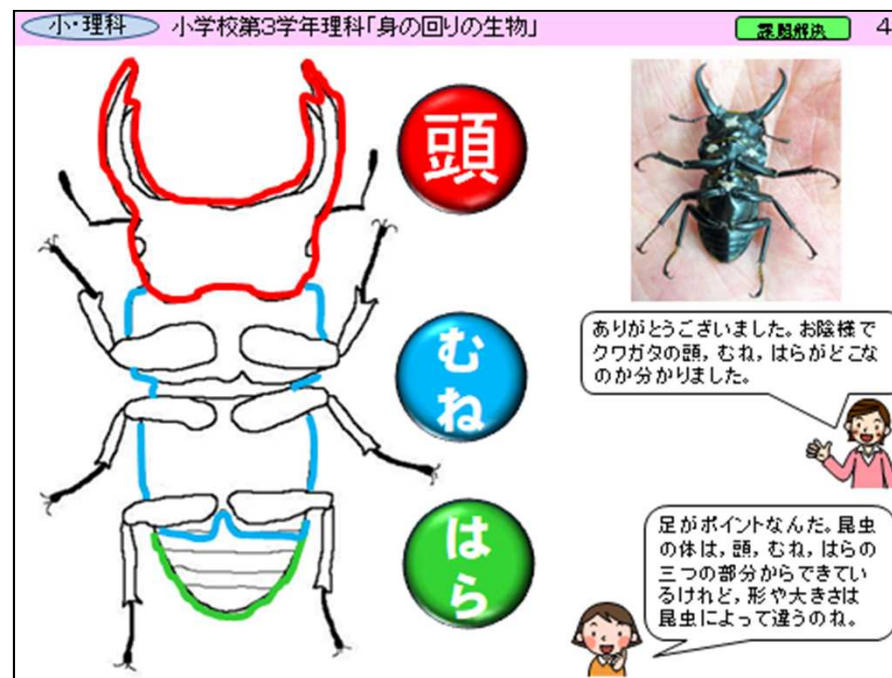
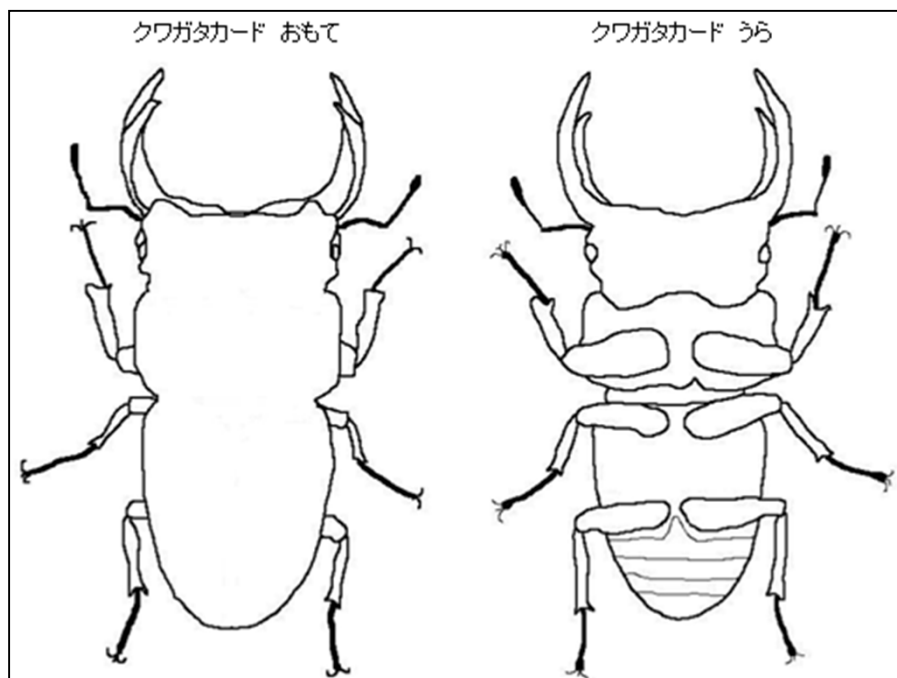


足に着目することの有効性を感じている受講者が多い。

他の昆虫に適用させて考えることで、理解が深まると感じている受講者が多い。

関連する語句＝同じ色
 円の大きさ＝出現頻度
 線の太さ＝関連の強さ

＜受講者の5段階評価の平均＞
 なし



＜このアイディアのポイント＞

- ・このアイディアのクワガタカードを印刷するだけですぐに準備できる。
- ・昆虫は胸から足が出ていることを強く印象付けることができる。
- ・他の昆虫に適用させて考えることで、生物の共通性と多様性を実感できる。